

C-2 単元・評価、本時案

(4) 単元・評価計画（課外0.5+総時数6時間）

次	学 習 活 動	評 価（評価方法）
課外	○レディネステスト	（評）基本図形6つとハート型の求積ができる（表・処）（レディネステスト）
一次 ③	○複雑な形の面積を求めよう ・ハート型のおよその面積を求めてみよう ・見立てビンゴをしよう ・スヌーピーの顔のおよその面積を習った図形で見立てて求めよう ・クラブのおよその面積を求めよう	（評）既習の基本図形に見立てようとしていたか（関・意・態）（発言・記述） （評）基本図形に見立てておよその面積の求め方を考えようとする（発言・ワークシート） （評）2つの条件に合った見立て方を考えている（思考）（発言・ワークシート）
二次 ②	○大きい複雑な形の面積を求めよう② ・東京ドームや甲子園のおよその面積を求めよう ・石川県、北海道の面積を求めよう	（評）既習の求積法法を使って求めようとしている（表・処）（発言・ワークシート） （評）都道府県の形を既習の基本図形の概形としてとらえ、面積の求めることができる（表・処）（発言・記述）
三次 ①	○身の回りの色々なものの面積を求めよう①	（評）既習の求積法法を使って求めている（表・処）（発言・ワークシート）

(5) ねらい

- ・大きなもののおよその面積も既習の基本図形に見立てれば、面積公式に当てはめて概測することができることを理解する。

(6) 学習過程

学 習 活 動	子 ども の 思 考 の 流 れ	支 援 ○(仮説)
1. およその面積の求め方について話し合う（10）	○石川県のおよその面積を求める「見立て」をしてみよう ・石川県は平行四辺形にも見えるよ ・石川県は、2つの三角形に見えるよ 北海道のおよその面積を求めよう	○既習が使えるそうか聞くことで、基本図形に見立てることを意識させる ・2つの図形に見たてることや方眼を使った求め方も認める
2. 自分の考えた見立て方で求める（15）	<北海道のおよその面積は、どのようにして求めることができるだろうか> ・大きな三角形としてみるよ ・2つの三角形で見立てるよ ・三角形と違う図形がくっついてるように見えるよ ○一辺の長さは？ →（1cmは30km、1mmは3km）	・縮尺を「物差し」として一辺の長さを測れることを確認する（1cm→30km） （評）およその面積の求め方を理解しているか
3. 自分の考えを発表する（10）	北海道を <u>三角形</u> と見て $480 \times 330 \div 2 = 79200$ A約79200cm ² 北海道を <u>2つの三角形、三角形と別の図形、長方形と別の図形、三角形と別の図形、その他…</u> と見て ・北海道は○○の図形に見立てて求めたよ ・北海道は○○と○○の2つの図形で求めたよ ○実際の面積（北海道78416km ² ）と比べてみよう ・実際の面積とかなり開きがあったのでもっと見立てを	（知・理）（発言・記述） ・色々な見立て方があることに発表を通して気付かせる ○実際の面積と比べさせ、見立ての仕方について考えさせる
4. まとめる（5）	しっかりしなければいけないな	
5. 次の課題をつかむ（5）	北海道や石川県みたいに大きな面積も基本図形に見立てて、公式に当てはめれば、実際の面積に近い面積で求められることが分かった <身の回りのものの、およその面積を求めてみよう>	・求めたいものを持ってきて、求積することを知らせる